

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

マーケットサマリー

Treasury Department

昨日のドルレアルスポット相場は、政治的混乱を背景としたブラジルマーケットからの資金流出が継続しており、レアルも取引直後に4.01台半ばまで急落。その後は、ブラジル中銀が月末のドル買い需要に対応するため急遽10億ドルのFXクレジットライン入札を通知したことや、Lorenzoni官房長官が、「本日中にも下院憲法司法委員会(CCJ)の報告者(Rapporteur)が選定される」と発言したことで落ち着きを取り戻し、3.90台後半までレアルが急反発(中銀は本日も30億ドルの入札を実施予定)。ボベスパ指数も上昇し、前日比2.7%高を記録した。レアルはさらなる下落を一旦回避したものの、取り巻く環境は依然として厳しい。Maia下院議長が指摘した通り、Bolsonaro大統領が年金改革法案の推進にどの程度覚悟を持っているか、その本気度に疑念が高まっている他、経済政策に対する無知ぶりを改めて露呈したこと、経済政策がGuedes経済相に過度に依存していること、を背景に海外投資家の危機感が募っている。頼みの綱である同経済相も、27日、「もし大統領が改革をサポートせず、また、議会が改革を望まないのであれば、私は元いた場所に戻る」と、辞任を示唆するような発言をしており(但し、「たった1つの敗北で職責を放棄することはない」とも述べている)、財政改革への期待感が急速にしほみつつある。大統領とMaia下院議長の関係性も悪化の一途を辿っている。27日に出演したテレビインタビューで、大統領は、「Maia下院議長は個人的な問題で動揺している」と、義父にあたるMoreira Franco元大臣の逮捕を暗に示唆し、同下院議長を挑発。同下院議長も、「大統領は国統治をお遊び気分で行っている」と対抗するなど、批判の応酬が政治の混迷化を招いている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	3月27日	3月28日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,9940	3,9010	-2,33%	3,84%	3,6374	4,0158
	対円	JPY	27,65	28,35	2,53%	-4,52%	30,08	27,53
	対ユーロ	BRL	4,4936	4,3800	-2,53%	2,54%	4,1646	4,5069
円	対ドル	JPY	110,51	110,63	0,11%	-0,68%	104,87	112,14
	対ユーロ	JPY	124,26	124,16	-0,08%	-1,98%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	91.903	94.389	2,71%	-1,25%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	183,60	185,22	0,88%	18,56%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	9,34	8,90	-4,71%	-1,14%	9,34	8,70
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,57	6,50	-1,07%	0,15%	6,69	6,32
3 Months US Dollar Libor		%	2,60100	2,59175	-0,36%	-0,89%	2,8039	2,5933
CRB Index (国際商品指数)		Index	183,94	183,33	-0,33%	0,32%	185,88	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の為替レートです。実際の取引では、銀行や証券会社等の取扱いによって異なる場合があります。

